

2026年1月5日

これまでにバンコマイシンの静脈内投与を受けた患者さんへ  
【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

熊本大学病院薬剤部では「バンコマイシン TDM における母集団薬物動態モデルの予測性に関する比較」という臨床研究を行っております。この研究は、バンコマイシンの投与设计を行うための母集団薬物動態モデルであるYamamotoモデルとOdaモデルを比較することを主な目的としています。そのため、過去にバンコマイシンの静脈内投与を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は大分市医師会立アルメイダ病院臨床研究審査委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。研究期間は以下のとおりです。

委員会承認後 ～ 2028年3月31日まで

○今回の調査研究の対象は、これまでに大分市医師会立アルメイダ病院にてバンコマイシン静脈内投与を受けた患者さんのカルテ、検体（血液）などの過去に収集したデータです。熊本大学病院の患者は対象外です。熊本大学病院の役割は、データの解析、論文の執筆への貢献です。

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大分市医師会立アルメイダ病院に帰属し、あなたには帰属しません。

○この調査研究は、大分市医師会立アルメイダ病院薬剤部の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

【問い合わせ先】

熊本大学病院 薬剤部

研究責任者：尾田 一貴

TEL：096-344-2111(代)

この調査研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願いいたします。

